

国際会議から 第8回アジア-太平洋風工学会議 (APCWE 8)

この会議は、4年に1回開催されているアジア、太平洋地域における風工学分野の国際会議で、今回で8回目となります。インド南部の都市チェンナイにあるGreen Park Hotelで開催され、約15カ国からの参加者がありました。特に開催地であるインドのほか、日本からの参加者が多かったようです。

この会議では基調講演、招待講演、テクニカルセッションが行われ、約180件の論文が発表されました。テクニカルセッションでは橋りょうの空気力学、数値流体力学(CFD)、風災害の低減などのテーマについて5会場で並行して口頭発表が行われました。そのうち風災害の低減に関するセッションで、筆者は風向を考慮した強風時の鉄道車両の安全性評価手法についての発表を行いました。会場で



谷本早紀
防災技術研究部
気象防災研究室
研究員

は研究発表の質疑の際はもちろん、休憩時間などでも参加者同士が活発に意見交換を行っていたことが印象的でした。

この会議に参加したことは、風工学分野の最新の研究動向を知ることができ、また日本を含む世界の風工学分野の研究者と交流できた貴重な機会となりました。



チェンナイの様子(会場の建物内から撮影)

正式名称：Eighth Asia-Pacific Conference on Wind Engineering
 開催国：インド(チェンナイ)
 期間：2013/12/10～14
 主催：CSIR-Structural Engineering Research Centre
 開催頻度：4年に1回
 次回開催予定：2017年
 ホームページURL：<http://apcwe8.serc.res.in/>